

お客様各位

株式会社 山喜農園
 新潟県魚沼市原1280-1
 TEL. 025-794-2455
 FAX. 025-794-4168
 E-mail: info@yamaki-noen.co.jp
 HP Address. http://www.yamaki-noen.co.jp

球根情勢報告

2013 年産オランダ産百合球根価格表/在庫表送付にあたり

平素よりお引き立ていただき誠にありがとうございます。
 2013 年産オランダ産百合球根価格表/在庫表（2013 年 11 月 13 日付）をお送りいたします。
 よろしくご確認ください。

本日現在、当社の仕入販売状況は、

	発注	受注	
OH/OT	98.6 %	96.4 %	
AH/LA/Longi	84.4 %	77.0 %	
Total	92.4 %	87.9 %	

となっています。大変ありがとうございます。

ちなみに、球数ベースで、92.4%の球根を確保していますが、現地渡しベースでの価額ベース確保割合は、98.5%に到達しています。（高い！）

（くわえて昨年 1 EURO=¥115.0-が、適応為替レートでしたが、本年はここまでの受注につきましては、1 EURO=¥128.0-で実行しています。球根仕入価格高価くなる。）

適応為替レートベースで、約 11%の円安。くわえて、仕入価格は単純には言えませんが、約 6%上昇している様です。

厳しいですね～。

でもね…球根は安すぎだったんですよ！だって、オランダや世界の球根農家はどんどん減ってきていますもの。（世界中一緒。安い球根価格で出来た切花産地は消えていく。安い球根を手抜きで作ればその球根産地も消えていく。）

対日市場には今日現在、11～12 軒のオランダ産百合球根輸出業者が存在しますが、そのうち約 3,000,000 球以上輸出していると想定している 9 軒の輸出業社から、11 月第 1 週現在の対日市場からの受注状況を聞き取り確認したところ、

11/12 年産で、約 8.0～8.2%減（約 9,350,000 球減）

『最終入荷予定量 105,500,000 球と想定した場合』（これはほぼ確定。）

12/13 年産では、少なく見積もって約 88,000,000 球、

多くとも約 92,700,000 球しか注文が入っていないとの事…。

（約 83.4～87.9%の発注率）

これは、A.H/L.A/Longi の減少だけでは済まない減少率になってしまうのか？

（今はまだ減少するとは言いたくない…。営業が遅れているだけと信じたい…。これから作況欠品・Plamv 欠品が来るのに…。）

いくらなんでも 95,000,000 球くらいにはなっしてほしいと願っています。

『日本向け品種』という言葉が無くなっちゃう！！（日本向け品種は、片寄サイズでしか売れない傾向。他の国も使える品種でないと…。90 年代前半は、複数サイズセット買いでしたよね…。）

12 年/13 年で、百合切花の輸入量も 10 月末日現在同時期比較で約 12.2%減少しています。（弊社ホームページご確認ください。）

残り 2 か月、さらに 14 年以降の切花輸入量も大げさに言えば 15～25%くらいの減少が予測されて

います。ちょっと減り過ぎじゃないですか？

13年産球根作況報告が入り始めました。(欠品情報が入り始めました。)作業が遅れている為、まだ一部A.H/L.A/Longiの情報しかありません。やや欠品傾向です。

単一サイズ又は、生産量の一部しか売れていない為、圃場での球根廃棄が出ている様です。(結果それが理由で欠品となってしまいます。)

売れない球根は、掘り取り・選別経費は掛けられない。球根農家にとっては掘り取り作業以降の経費が生産費の、一番大きな部分ですからね。(50%以上?)

中国も日本同様、もしくはそれ以上に偏った品種しか売れていないそうです。(品種変更が起きつつある。)今後O.H/O.T系(ソボノヌ・シベリア・ティバー等の中国市場重要品種。)何か起きるのか、未だにわかりません。(品薄・価格高騰なのか、販売不調価格下降なのか…。)

作の良い品質の良い農家の球根を選んで買いたいものです。

船積みが開始されています。

	11月船積球数		12月末までにお客様に納品できた球数						
09年産	3,735,000	球	1,123,000	球(実績)					
10年産	4,806,000	球	717,000	球(実績)					
11年産	3,663,000	球	1,136,000	球(実績)					
12年産	3,761,310	球	194,000	球(実績)					
13年産	未定		500,000~750,000	球	(12月末までに内貨にできる予定球数1,699,425球)				

*船が遅れたり、検査合格しなければ、計画通りに行かなくなります。

12年産では、12月中に内貨貨物(通関が切れた貨物)は、40feetコンテナ1本のみでした。(約300,000球。11月に3,760,000球も積んでいるのに!)

今年は横浜港から清水港に戻したので(去年は自社冷蔵庫工事があった為、横浜港にお世話になった。)、ロッテルダム港出しの曜日と日本各港到着曜日の関係で若干改善できそうです。

現在欧州から日本各港へ着港する船会社は、大きく分けて二つ。マースクラインとG6同盟(NYK/Mitsui含む)です。

球根輸出業社の倉庫を出てから日本の港に着く速度は、約42日間で、どちらも変わりません。

本年は、12月中に内貨貨物にできるコンテナを6本確保することが出来ました。

但し、突然G6同盟側が、11月最終週から2月最終週の約11週間については約49日間スケジュールに変更するという案内を出してきました。(それ以降は42日間に戻るそうです。)

49日間とは1980年代前半中盤のアジア各国の船会社輸送日数です!!日本/ヨーロッパの船会社では、32~37日くらいでした。

弊社の場合、マースクラインを使えば(神戸港揚げ)、昨年より1週間早くなり、NYKLineを使って清水港に揚げれば、昨年並みとなる様です。

また、経費が160,000~200,000円追加されますが、ロッテルダム港の代わりに、ルハーブル港を使うと、昨年より1週間早く出来る様です。(これだと船運賃約30%UP!ヨーロッパもEU圏内物流費高価くなってる!)

該当する11週間では昨年実績ベースで、72本のコンテナを現地から積み出しています。

様々な対策を立てて、なんとか昨年並み、又は早くなればなあと考えています。

*10月/11月、雨がひどく掘り取りが遅れています。(弊社ホームページ11月2日分ご確認ください。)
この事により、やや遅れる可能性も高まっている事も、併せてご理解ください。

不明な点等あれば、お問い合わせください。
よろしく願い致します。

以上 森山 隆